

広  
報

# 安達太良



R2. 6. 7撮影

## 【巻頭言】

### 「どうやったらできるか」だけを考える… 子どもの夢の実現のために

福島県小学校長会安達支会長 岩 渕 孝  
(二本松市立杉田小学校長)

令和2年2月27日、総理の全国一斉休業要請のニュースに職員室の空気が一瞬で凍り付いた。言葉を失うことが本当にあると知った。明日で終わり？残った授業は？テストは？鼓笛移杖式は？6年生を送る会は？修了式は？卒業式は？このまま学級の子どもたちとお別れ？あれもできない、これもできない…。誰も経験したことのない先の見えない臨時休業が数日後には始まった。

子どもたちに何もしてあげることができない戸惑い、無力感、焦りのある日々の中で、テレビから流れる日本通運の企業メッセージを聴いた。



「モノを運ぶとき、それがどんなに困難でも、私たちは『できる・できない』の話をしない。『どうやったらできるのか』だけを考える。」

「もし私たちがあきらめてしまったら、そのモノに込められた人の思いは実現しなくなる。新しい可能性がしぼんでしまう。」  
「だから、私たちは準備に準備を重ね、ただ一つの最善の方法を見つけ出す。さらに実行へ向けて、完璧な準備へと仕上げていく。この徹底したこだわりがあるから、前例のない仕事や困難をきわめる仕事にも、自信をもって立ち向かえる。」

「私たちに哲学があるとしたら、現場の試行錯誤こそがそれだ。」

つねに最善を追求する人の力が現場を支えている。」

「私たちはこれからも創意工夫を繰り返し、新しい道を切り拓き続ける。物流が社会を豊かにしていく原動力であることを信じて。」

やられたと思った。あまり他人の言葉に影響を受けない自分であるが、この企業メッセージには衝撃を受けた。一つ一つの言葉が胸に刺さった。この言葉どおり黙々と物流に携わる人々がいることを再認識した。自分は子どもたちのために「どうやったらできるのか」だけを考えていたか？どうせ「できない」とあきらめてはいなかったか？「できない」理由を探していなかったか？

長期にわたる臨時休業を経て、段階的に、そして本格的に学校が再開した。「新しい生活様式」に基づく学校経営には今までにない知恵と工夫がある。現場の最前線に立つ校長としての覚悟がある。そのうえで「できない」というパッシブな判断ではなく、未来ある子どもたちの命を守るため、夢の実現のために「今はやらない」という重いポジティブな決断をすることも必要である。安達地区小学校長会長としてできることは何か、すべきことは何かを肝に銘じて教職最後の年を締めくくりたい。

写真は杉田小学校全児童の夢を乗せた「夢ロケット」

(上：平成30年度、下：令和元年度)

令和2年度のロケットは只今、発射準備中…。



## 【総務部活動計画】

## 「安達は一つ」を実効あるものに

総務部長 遠藤 春光  
(二本松市立石井小学校)

## 1 活動方針と活動内容

- (1) 全国・東北・県小学校長会との緊密な連携と調整のもと、諸会議の充実を図る。
  - 第72回全国小学校長会研究協議会京都大会(紙上発表)・第60回東北連合小学校長会研究協議会宮城大会【12名参加予定】(中止)
- (2) 支会・各専門部の組織を十分機能させ、計画的かつ継続的な活動を展開し、特色ある学校経営の創造に資する。
  - 年間計画に基づく研修や情報交換
    - ・全体研修会、方部別研修会
    - ・各専門部の活動と情報交換
  - 創意工夫ある運営
    - ・活動内容・方法の工夫
- (3) 各種教育団体との連携を密にし、安達地区内の教育課題の解決に資する。
  - 県小教研研究協議会の開催
    - ・国語部会安達地区会の支援  
中止(10月14日)
  - 地区小中学校長協議会との連携活動
    - ・総会 中止(4月2日)
    - ・歓送迎会 延期(4月10日)
    - ・教育長との懇談会 (8月21日)
    - ・退職校長会との懇談会 (12月4日)
    - ・退職校長感謝会 (3月19日)
    - ・中堅教員等実務研修会 中止(5月～7月)
  - 小中学校音楽祭、理科作品展、特別支援交流学習・児童作品展他

## 2 「安達は一つ」を実効あるものに

新型コロナウイルス感染症対策他、山積する現場の課題解決に向け、全会員が常に語り合い、情報を共有し続けていきたい。ネットワークを広げ、日常的に校長の在り方や関わり方について研修を深め、「安達は一つ」を実効あるものとしていきたいと考えている。

## 【経理部活動計画】

## 適正・円滑な経理を期して

経理部長 草野 和代  
(二本松市立岳下小学校)

## 1 活動の基本

全国・東北・県小学校長会の動向を踏まえ、本会の目的に沿った質の高い活動が展開できるよう、適正な予算編成や円滑な執行にあたる。

## 2 会費の執行状況

- (1) 今年度会費(一人あたり) 69,600円
- (2) 今年度の各負担金(一人あたり)
  - 県小学校長会費 30,000円
  - 研究大会基金 1,000円
  - 東北連小会費 2,000円
  - 東北連小準備金 300円
  - 全連小会費 6,500円
  - 日本教育会費 3,100円
  - 小中連協会費 11,000円
  - 大会参加旅費積立金 1,000円
- (3) 賛助会費(一人あたり)
  - 退職校長会賛助会費 500円
- (4) 残りの会費
  - ・事業費や運営費等に計画的に充てる。
- (5) 旅費について
  - ・校長会研修会は、全て県費旅費となる。

※東北連小・全連小の研究協議会参加費を本会費より支出する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、東北連小宮城大会は中止(要項作成により開催に代える)、全連小京都大会は紙上発表となりました。よって、両大会の参加費支出はありません。

## 3 経理部組織

二本松方部	草野 和代(岳下小)
東達方部	藤原 謙(小浜小)
南達方部	佐藤 聡(五百川小)

【行財政部活動計画】

教育行政上の課題解決に向けて

行財政部長 紺野 真一  
(二本松市立新殿小学校)

1 活動方針

- (1) 教育行政上の課題解決のために、組織的継続的な対策活動を推進する。
- (2) 当面する課題や新たな視点から調査研究活動を行う。また、特別調査として今年度も大震災・原発事故の影響に係る調査を継続して行うものとする。
- (3) 関係機関との連携を保ち、教育行政上の諸問題について情報を収集するとともに、広報部と連携を図り適時・適切な対応に努める。
- (4) 組織をあげて地域課題を解決するための活動を推進する。

2 活動内容

- (1) 多様な教育活動に対応するための教育条件の整備・充実
- (2) 教職員の待遇改善と福利厚生の上向
- (3) 当面する重要課題の調査研究とその課題解決

3 活動計画

- (1) 行財政部会
  - 組織・活動計画作成 (4月)
  - 調査Ⅰ・Ⅲ及び特別調査の実施 (5月)
  - 行財政上の課題把握 (6・7月)
  - 要望活動の推進 (8月～)
  - 活動の反省 (1月)
  - 人事の反省 (3月)
- (2) 各種県行財政部会等への出席
  - 県行財政部合同部長会・代表部長会
  - 県行財政部幹事会・合同幹事会

4 行財政部組織

二本松方部 大内 雅之 (二本松北小)  
 東達方部 紺野 真一 (新殿小)  
 南達方部 佐藤 健夫 (本宮小)

【研究部活動計画】

令和3年度福島大会に向けて  
組織的な実践研究を推進

研究部長 児山 秀典  
(本宮市立岩根小学校)

1 活動方針

- (1) 「たくましく生き ともによりよい未来を創っていく子ども」の育成に向けた校長としての取組が明らかになるように進める。
- (2) 研究を校長自身の研鑽の場にとらえ、校長としての考えや取組が明示されるよう研究を進める。校長会の組織的な研究として質の高い実践研究を進めていく。

2 活動内容

- (1) 東北連小宮城大会実践発表 (中止)  
※地区代表として発表準備をされていた南達方部校長先生方にはお詫びと感謝を申し上げます。
- (2) 8月21日(金)支会大会において、各方部から実践経過と成果等の発表
- (3) 支会研究報告書の作成 (発表支会)
- (4) 全国連合小学校長会研究協議会京都大会 (紙上発表)
- (5) 東北連合小学校長会研究協議会福島大会に向けた準備

3 研究組織と研究の視点

方部	方部長	分科会【研究の視点】
二本松	大越吾都臣 (原瀬小) [希望支会]	1 経営, 組織・運営【視点2】 教職員の参画意識を高揚する活力ある組織・運営
東達	八巻博之 (東和小) [発表支会]	7 学校安全【視点1】 自他の安全のために自ら判断し行動できる子どもを育てる取組の推進
南達	森藤雅之 (和田小) [希望支会]	10 社会との連携・協働【視点1】 家庭・地域等と連携・協働を深める学校づくりの推進

## 【生徒指導部活動計画】

## 生徒指導上の課題解決に向けて

生徒指導部長 小林 雄  
(大玉村立玉井小学校)

## 1 活動目標と方針

- (1) 県小学校長会生徒指導部活動方針・重点を踏まえ、本支会における生徒指導上の諸問題及び対応について情報交換を行い、学校経営に役立てる。
- (2) 生徒指導上の共通課題等について解決策を探る。
- (3) 幼稚園・子ども園・保育所や中学校及び関係機関との連携を図り、児童の健全育成に努める。

## 2 活動内容

- (1) 生徒指導上の当面する課題についての情報収集と提供を行う。
  - ① 「心のケア」を必要とする児童の実態調査
  - ② 「いじめ・不登校・虐待・暴力行為」に関する調査
  - ③ 「SNS・ネット利用の実態」に関する調査
- (2) 共通課題解決に向けての実践状況の情報交換、検討協議をする。
- (3) 各中学校区ごとに関係機関との連携を図り幼・小・中の一貫した生徒指導を行う。

## 3 活動計画

- (1) 生徒指導部会
  - 組織・活動計画作成 (4月)
  - 調査の実施 (5～7月)
  - 調査報告書の提供・情報交換 (8月)
  - 今年度の反省と次年度の取組 (2月)
- (2) 各種県生徒指導部会への出席

## 4 生徒指導部組織

二本松方部 伊藤比呂美 (塩沢小)  
東達方部 大内 剛 (油井小)  
南達方部 小林 雄 (玉井小)

## 【広報部活動計画】

## 学校づくりを支える広報活動

広報部長 鈴木 茂  
(本宮市立白岩小学校)

## 1 活動目標

- (1) 会員の研鑽と交流、学校経営に寄与する広報活動を推進する。
- (2) 関係機関との連携を図り、情報交換や資料提供のための広報活動を推進する。

## 2 活動内容

- (1) 広報「安達太良」の発行(年3回)
- (2) 地区広報部会の開催と連携
- (3) 県広報部幹事会との連携
- (4) 県会報、校長会のあゆみ、小学校時報への寄稿

## 3 活動方針

- (1) 広報「安達太良」の発行に重点を置き、全会員1回を原則として寄稿を依頼する。
- (2) 校長会組織や担当する領域・分野を生かして寄稿を依頼する。
- (3) 広報の発行は年3回とし、支会の特色を生かし親しみのもてる編集に心がける。
- (4) 県会報等の寄稿については、支会長より依頼する。
- (5) 会員への会報はメールで届ける。

## 4 活動日程

- (1) 広報部の活動計画 (メールにて承認)
- (2) 広報部会 (必要に応じてメールで)
- (3) 広報の発行予定
 

188号	7月1日
189号	12月1日
190号	3月1日
- (4) 県会報への寄稿
  - ・今年度は、251号県会報「特集テーマ」、252号会報「支会だより」の原稿依頼

## 5 広報部組織

二本松方部 菅藤 文彦 (大平小)  
東達方部 鈴木 規男 (渋川小)  
南達方部 鈴木 茂 (白岩小)

## ■ 【新任校長として】

## 学校の「当たり前」をかみしめる

二本松市立小浜小学校 藤原 謙



「先生、玉結び、上手にできた！！」

臨時休業明けの5年家庭科の授業、玉結びができず、何度か失敗しながら、やっと上手にでき、顔を紅潮させて喜びの声をあげる女子児童。女子児童が自慢げに見せる玉結びを「よくできたね」とやさしく微笑みながら、称賛する担任教師の姿。そして、「また、失敗だあ…」と声を上げ、上手にできた友だちをうらやましく思いながら、何度も玉結びに挑戦する学級の子どもたち。「玉結びをできるようにになりたい」という、子ども一人一人の思いが高まって、学級全体にその雰囲気共有されていくその瞬間は、私にとって、とても心地のよい時間でした。

私が校内巡視中に偶然出会ったこの風景は、今般の感染症による臨時休業前であれば、学校の「当たり前」の風景であり、私を惹きつける出来事ではなかったかもしれません。しかし、今般の臨時休業を受けて、子どもたちが共に学ぶよさ、自ら学ぶ態度を育てることの大切さなどを改めて実感し、学校で学ぶ意義を問い直す自分がいました。

「今、この時だからこそ、できることは何か」「やらなければいけないことは何か」そして、「私たちがやろうとしていることは、子どもにとってどんな意味をもつのか」これらの問いを大切にしながら、143名の目の前の子どもたちのため、全力で学校経営にあたりたいと思います。

## ■ 【新任校長として】

## 「かしの木」のように

二本松市立渋川小学校 鈴木 規男

渋川小学校が建つ神明森の丘は、春は白雪をいだけく安達太良山を望み、桜の花が咲き競っています。

この渋川小学校は創立147年目を迎えました。明治6年に創立され、明治



・大正・昭和・平成そして令和にまたがる渋川小学校のあしあとをたどると、大正そして昭和初期の2度にわたる火災を経験するなど、その歩みのなかには、本当に多くの方の献身的な働きによって今日の渋川小学校が存在していることをひしひしと感じます。

また、校章には渋川小学校の象徴ともいえるべき「かしの木」の葉が描かれています。「かしの木」



のように力強い、たくましい子どもたちが育つようにとの願いが込められています。

その木は1917年（大正6年）に移植されました。つまり103年もの間、渋川小学校の子どもたちを見つめてきたのです。

私は新任校長ではありますが、校長会の皆様のご指導をいただきながら、渋川小学校の子どもたち一人一人が、本校の校歌にあるように、毎日笑顔で

はつらつと 向上の丘を のぼり  
おおらかに 学習のみちに 励み  
平和の里の渋川に生まれて生きる喜び

を実感できる学校経営を進めていきたいと思いません。今後ともご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

【特集テーマ】

登山教育

二本松市立安達太良小学校 織田島浩孝

全校安達太良登山の道中、大きな岩の所々に穴があいているのを子どもが見つめました。山岳ガイドの方の話によると、岩の上に風に運ばれた小石が乗り、雨が降ってその小石がくるくる回り・

・それを長い年月繰り返してできた穴なのだそうです。子どもたちはまじまじとその穴を見つめ触れていました。励まし合いながら山頂を目指し、りんどうや様々な植物を見て、湧き水やごつごつした岩、火山の噴火



大きな岩に穴が

できた軽石に触れ、自然の雄大さ、すばらしさを実感しながらようやく山頂にたどり着くと、ある2年生がしみじみと「あー、山ってこんなに大きいんだ」と。今年で40回を数える本校の伝統行事である安達太良登山には、教室では学ぶことができないたくさんの学びが詰まっています。養老孟司氏は「子ども＝自然」それを人工的なものに押し込めるから変なことが起きちゃうんです、と語っています。一日に10分でいいから自然にできたもの（山、植物、昆虫など）を眺めるのが脳の働きにも良いのだそうです。これからも本校の特色を生かし、各教科の学びと自然体験活動をカリキュラムマネジメントの視点で計画・実践し、たくましく生き抜く子どもの育成を目指していきます。



全校安達太良登山

【特集テーマ】

明るく、楽しく、前向きに

本宮市立和田小学校 森藤 雅之

**勝手に現職教育**

— 一太郎やワードで  
差し込み印刷にチャレンジ

夏休み初日の7月22日 午後2時から、勝手に勉強会を開きます。  
夏休み明けの水泳記録会の記録証づくり等に結構役立つと思います。

「差し込み印刷ってなに？」  
みたいなスキルの低い人にも分かるようにお話する予定です。

興味ある方はぜひご参加ください。

令和元年度一学期の終わり頃、机の上に一枚のちらしが載せられていました。ちらしを見るまで私はこの研修が開かれることを知りませんでした。また、ちらしは現職教育主任が発行したものではありません。題名の通り、本当に勝手に現職教育です。でもなぜか、微笑ましく感じたことを覚えています。

教職員人事評価制度を基に教職員の資質向上を図ることの重要性について議論の余地はありません。ただ、教職員の大量退職が始まり、新採用教員がどの学校にも配置される現状では、上記のような自主的な教育文化の伝達が行われることも教職員の質を高める上で大切であると考えます。

和田小学校の令和2年度基本方針は「子どもと教職員がともに成長し、自己肯定感を高めることができる学校」です。組織的・計画的な取組と自主的な教育文化の伝達のバランスをとりながら、明るく、楽しく、前向きに教職員の成長を図り、自己肯定感を高めていきたいと考えています。

結びに、日頃より温かなお声をかけていただいております安達地区の校長先生の皆様ならびに関係機関の皆様へ感謝申し上げますとともに、今後ともご指導をいただけますようお願いいたします。